一般社団法人日本医療薬学会

2022年度第2回定例理事会 議事録

一．開催日時： 2022年5月30日（月） 13時30分 ～ 17時00分

二．開催場所： ハイブリッド開催（事務局会議室＋Zoomを利用したウェブ会議）

三．出席者

会　頭： 山本 康次郎

理　事： 富岡 佳久

監　事： 奥田 真弘、安原 眞人

以下の出席者は、Zoomを利用したウェブシステムにより参加した。

副会頭： 石井 伊都子、寺田 智祐、百瀬 泰行

理　事： 池田 龍二、石澤 啓介、伊藤 清美、齋藤 秀之、佐藤 淳子、佐野 俊治、関根 祐子、田﨑 嘉一、豊見 敦、中村 敏明、花輪 剛久、濱浦 健司、宮﨑 長一郎、村木 優一、矢野 育子

顧　問： 木平 健治、和田 一夫

陪席者

事務局： 星 隆弘、姫嶋 直子、針生 裕子、田中 結寿、大湊 宏味

欠席者

監　事： 望月 眞弓

顧　問： 山本 信夫、五十嵐 邦彦

四．議長： 山本 康次郎

五．会議の成立

定刻において、議長より開会が宣言され、本理事会は理事 20 名の出席があり、定款第38条に定める定足数を満たしており､適法に成立している旨が報告された。

六．議事の経過の概要及びその結果

1．第14回定時社員総会議事録の確認

議長より、2022年3月18日に開催された第14回定時社員総会議事録を基に議事内容が確認され、修正等がある場合には本理事会終了時までに指摘するよう要請があった。

2．2022年度第1回定例理事会議事録の確認

議長より、2022年2月22日に開催された2022年度第1回定例理事会議事録を基に議事内容が確認され、修正等がある場合には本理事会終了時までに指摘するよう要請があった。

3．2022 年度第 1 回臨時理事会議事録の確認

議長より、2022 年 3 月 28 日に開催された 2022 年度第 1 回臨時理事会議事録を基に議事内容が確認され、修正等がある場合には本理事会終了時までに指摘するよう要請があった。

4．協議事項

(1) 2022-2023年度各委員会の編成

各委員会の委員長より提示された情報を取り纏めた2022-2023年度各委員会の編成リストに基づき、委員指名理由等の説明があった。議長より、製薬企業連携検討ワーキンググループについて、今後常置委員会として設置することとし、委員長は佐野理事とすることが説明された。協議した結果、了承された。

(2) 委員会組織の改編に係る検討、会頭からの諮問

議長より、委員会細則の改正と各委員会規則の整備を検討している旨の説明があった。今後、速やかに改正ならびに整備を進めたうえで会頭から各委員会委員長への諮問を行うことが説明された。協議した結果、了承された。

(3) 2022 年度各学会賞授賞者選考

1) 功績賞授賞者の決定

議長より、功績賞・振興賞選考委員会において、今年度の功績賞授賞候補者として本理事会に 3 名の候補者を推挙した選考経緯が説明された。協議した結果、次の 3 氏への功績賞授与が了承された。（以下、五十音順）また、今後の受賞対象者の情報が共有された。

・吉光寺 敏泰　氏　（理事：通算 3 期 6 年）
・齋藤 秀之　氏　（第 31 回年会長）
・鈴木 洋史　氏　（理事：4 期 8 年 3 カ月、副会頭：3 期 6 年 3 カ月）

2) 振興賞授賞者の決定

議長より、振興賞受賞候補者について、規程に則り審議した結果、今年度は該当者がいないことが報告された。

3) 日本医療薬学会賞授賞者の決定

石井副会頭より、学術関連賞選考委員会（及び日本医療薬学会賞等選考小委員会）において、今年度の日本医療薬学会賞授賞候補者として、本理事会に 1 名の候補者を推挙した選考経緯が説明された。また、選考規程において 25 年以上の会員歴が求められているが、学会の歴史から見て 25 年以上というのは要件が厳しいのではないかという意見があったことが報告された。本件については選考委員会で今後検討を行うこととなった。協議した結果、山田氏への日本医療薬学会賞授与が了承された。

・山田 清文　氏　（名古屋大学医学部附属病院）

4）学術賞授賞者の決定

石井副会頭より、学術賞に3名より応募があったが、いずれも業績が十分でないことから学術関連賞選考委員会（及び日本医療薬学会賞等選考小委員会）において、今年度は該当者なしと判断したことが報告された。

5）奨励賞授賞者の決定

石井副会頭より、学術関連賞選考委員会において、今年度の奨励賞授賞候補者として、本理事会に4名の候補者を推挙した選考経緯が説明された。規程上は原則3名以内となっているが、3位および4位の候補者の業績が拮抗しており、内容的にも優れていることから、日本医療薬学会賞等選考小委員会からは 4 名の候補者を学術関連賞選考委員会に推薦したことが説明された。協議した結果、次の4氏への奨励賞授与が了承された。（以下、五十音順）

・赤嶺 由美子　氏　（秋田大学医学部附属病院）
・植田 貴史　氏　（兵庫医科大学病院/兵庫医科大学）
・近藤 悠希　氏　（熊本大学大学院生命科学研究部）
・中川 俊作　氏　（京都大学医学部附属病院）

6）Postdoctoral Award授賞者の決定

石井副会頭より、学術関連賞選考委員会（及びPostdoctoral Award選考小委員会）において、今回の応募者24名に係る選考を進めた結果、今年度のPostdoctoral Award授賞候補者として、本理事会に10名の候補者を推挙した選考経緯が説明された。協議した結果、次の10氏へのPostdoctoral Award授与が了承された。（以下、五十音順）

・岡本 敬介　氏　（北海道大学病院）
・小澤 秀介　氏　（信州大学医学部附属病院）
・笹野 央　氏　（順天堂大学医学部附属順天堂医院）
・佐村 優　氏　（医療法人社団緑成会 横浜総合病院）
・梨本 俊亮　氏　（北海道大学病院）
・新村 貴博　氏　（徳島大学病院）
・藤田 有美　氏　（金沢大学附属病院）
・森田 時生　氏　（大鵬薬品工業株式会社）
・山本 譲　氏　（旭川医科大学病院）
・若井 恵里　氏　（大阪大学大学院医学研究科）

7）論文賞受賞論文の決定

① 医療薬学誌論文賞授賞論文の決定

石井副会頭より、学術関連賞選考委員会（及び医療薬学誌論文賞選考小委員会）において、今年度の医療薬学誌論文賞の授賞候補として、本理事会に3編の候補論文を推挙した選考経緯が説明された。協議した結果、次の3編への医療薬学誌論文

賞の授与が了承された。(以下、掲載順)

・論文題目（一般論文）

『術後悪心嘔吐の発症率と麻酔科医の予防措置決定に薬剤師による介入が及ぼす影響』

著者／猪狩賢蔵，鈴木信也，関博志，野村嘉奈子，外園弥生，吉田蘭子，阪上貴子，伊藤智一，荒瀬透，林誠一

（医療薬学 Vol.47，No.4，179-184）

・論文題目（一般論文）

『低風疹抗体価の産褥婦に対する風疹ワクチン接種 protocol-based pharmacotherapy management の効果』

著者／在間優衣，岡田淳芳，中村豪志，石井一也，大塚識稔，山本昌彦

（医療薬学 Vol.47，No.10，527-536）

・論文題目（一般論文）

『デパケン® 細粒 40%懸濁液の経鼻栄養チューブ閉塞に対するとろみ調整食品添加の有用性』

著者／浜田茂明，森本真仁，大島直実，篠原由起子，鈴江朋子，石田志朗

（医療薬学 Vol.47，No.11，616-622）

②JPHCS 誌論文賞授賞論文の決定

石井副会頭より、学術関連賞選考委員会（及び JPHCS 誌論文賞選考小委員会）において、今年度の JPHCS 誌論文賞の授賞候補として、本理事会に 3 編の候補論文を推挙した選考経緯が説明された。協議した結果、次の 3 編への JPHCS 誌論文賞の授与が了承された。(以下、掲載順)

・論文題目

「Opioid therapy duration before naldemedine treatment is a significant independent risk of diarrhea: a retrospective cohort study」

著者／Akiharu Okamoto, Kenji Ikemura, Eri Mizutani, Takuya Iwamoto and Masahiro Okuda (JPHCS 2021 7:3)

・論文題目

「Mixture of clopidogrel bisulfate and magnesium oxide tablets reduces clopidogrel dose administered through a feeding tube」

著者／Manahito Aoki, Midori Naya, Shiho Arima, Kaori Shinohara, Masahiro Kato, Kiyoshi Shibuya, Masaki Ohtawa, Tohru Nagamitsu and Katsuya Otori (JPHCS 2021 7:18)

・論文題目

「Potentially harmful excipients in neonatal medications: a multicenter nationwide observational study in Japan」

著者／Jumpei Saito, Naomi Nadatani , Makoto Setoguchi , Masahiko Nakao , Hitomi Kimura , Mayuri Sameshima , Keiko Kobayashi , Hiroaki Matsumoto ,

Naoki Yoshikawa , Toshihiro Yokoyama , Hitomi Takahashi, Mei Suenaga, Ran Watanabe, Kinuko Imai, Mami Obara, Mari Hashimoto, Kazuhiro Yamamoto, Naoko Fujiwara, Wakako Sakata, Hiroaki Nagai, Takeshi Enokihara, Sayaka Katayama, Yuta Takahashi, Mariko Araki, Kanako Iino, Naoko Akiyama, Hiroki Katsu, Kumiko Fushimi, Tomoya Takeda, Mayumi Torimoto, Rina Kishi, Naoki Mitsuya, Rie Kihara, Yuki Hasegawa, Yukihiro Hamada, Toshimi Kimura, Masaki Wada, Ayano Tanzawa and Akimasa Yamatani (JPHCS 2021 7:23)

(4) 2022年度名誉会員委嘱候補者の推薦

議長より、2022 年度の名誉会員の委嘱候補者として、名誉会員推薦内規に則り審議した結果、次の 3 名を推薦候補として推挙したことが説明された。協議した結果、本件は了承され、第 14 回臨時社員総会に名誉会員の委嘱候補者として諮ることとした。(以下、五十音順)

・井関 健　氏
・佐々木 均　氏
・松原 和夫　氏

(5) 2022年度医療薬学学術小委員会の新規採択・継続

1) 新規採択

齋藤理事より、2022 年度医療薬学学術小委員会の採択について、今回は 6 件の応募があり、医療薬学学術小委員会で審議した結果、3 件を採択可能とすること及び採択の理由の説明があった。協議した結果、当該 3 件を採択することが了承された。

・採択案件(1)
研究代表者　鈴木 賢一　(星薬科大学)
研究課題名　病院・薬局薬剤師がシームレスで行う、がん薬物治療の有害事象マネジメント支援体制の構築
(付記) 研究活動計画を具体化すること

・採択案件(2)
研究代表者　舘 知也　(岐阜薬科大学)
研究課題名　WITH/POST 新型コロナウイルス時代のオンライン研修教育のあり方
(付記) 研究活動計画を具体化するとともに、研究成果となる提言などの策定が望まれる

・採択案件(3)
研究代表者　矢野 良一　(大阪医科薬科大学)
研究課題名　症例検討による省察の推進と教育への展開を目指した調査研究
(付記) 本研究の構成メンバーとして、臨床医の協力・参画を検討すること

2）活動継続

齋藤理事より、学術小委員会活動の継続対象となる５件について医療薬学学術小委員会での審議結果に係る説明があった。協議した結果、了承された。

2)-1　研究活動の継続が認められる学術小委員会

① 2021 年 第 1 小委員会

委員長：須永 登美子（昭和大学歯科病院）

研究課題名 「臨床業務における薬剤師による有害事象報告教育基盤の構築」

② 2021 年 第 2 小委員会

委員長：渡邊 裕之　（医療法人徳洲会福岡徳洲会病院）

研究課題名「免疫チェックポイント阻害薬の他施設共同患者レジストリを用いた、免疫関連有害事象の早期発見に資する研究」

2)-2　研究活動期間の満了前に活動を終了する委員会

学術第 5 小委員会　委員長：石塚 雅子（名古屋大学医学部附属病院）

研究課題名「専門認定を目指す薬剤師育成のための症例データベースの構築」

2)-3　研究活動の継続が保留となった学術小委員会

2020 年 第 1 小委員会　委員長：松尾 宏一（福岡大学病院）

研究課題名「がん患者に対する薬剤師による副作用マネジメントの薬学的および経済学的な効果に関する研究」

研究活動の 2 年目を迎えた 2021 年度の活動報告書の内容より、具体的な活動実態が確認できないないため、学術委員会で本小委員会の活動の終了に係る意見があったことなどが説明され、協議した結果、担当小委員長への更なる確認を進めた上で継続を判断することとなった。

(6) 学術第4小委員会の活動継続に係る取扱い

齋藤理事より、本年3月をもって活動期間が終了する学術第4小委員会では、「経口 COVID 19 治療薬 の パキロビッド（ニルマトレルビル/リトナビル）の薬物相互作用マネジメントの手引き」を策定し、本学会ホームページ上で公表している。本年第１回理事会では、本手引きの継続的なメンテナンスの必要性に鑑み、医療薬学学術委員会で議論を進める意見があり、それを受け本小委員会の継続に係る議論が求められることから、「医療薬学学術委員会及び小委員会運営規程」を改正し、学術小委員会の活動を継続させることを検討したいという説明があった。協議した結果、本件は了承された。

(7) 薬学系学会等との連携に係る検討

奥田監事より、「日本薬系学会協議会（仮称）」設立に向けた準備委員会についてこれまでの経緯が説明された。また、「日本薬系学会協議会（仮称）」設立に向けた懇談会開催について説明があった。協議した結果、了承された。

(8) 決算処理における年会収支の取扱い

議長より、決算作業時に金額が確定していない年会における支出費用（日病薬病院薬学認定薬剤師の研修単位シール発行手数料、発送費及び作業を行うための委託費等）については、見積金額をもって決算に入れているが、正確性を高めるために費用が発生した年度ごとに決算を行うこととしたいとの説明があった。本件については、和田会計顧問と財務委員会で再度検討を行うこととなった。

(9) 会費の遡及納入に係る嘆願への対応

宮﨑理事より、前年度会費の遡及の嘆願4件についての説明があり、協議した結果、全4件の嘆願を了承することとなった。

5. 報告事項

(1) メール審議による理事会審議の結果報告

事務局より、前回理事会以降にメール審議された案件の概要と審議結果が報告された。

・2021年度がん専門薬剤師制度 新規申請に係る認定試験の受験資格審査結果

上記については、了承されたことが報告された。

(2) 事務局パソコンのウイルス感染に係る報告、対応

事務局より、職員1名のパソコンがウイルスに感染した結果、複数のメールアドレスから大量のメール送信が行われたことが報告された。また、本件についての対応及び今後の再発防止等についての対応が報告された。

(3) 第32回年会（高崎）準備状況報告

山本年会長より、本年9月に開催される第32回年会についての準備状況が報告された。

(4) 研修会開催計画（公開シンポジウム、フレッシャーズ・カンファランス）

伊藤理事より、2022年度医療薬学公開シンポジウム（第85,87回）の開催計画が報告された。また、第5回フレッシャーズ・カンファランスの開催計画（本年6月12日開催）が報告された。

(5) 第2回臨床研究セミナー実施・収支報告、受講者アンケート

矢野理事より、本年4月17日（日）に開催された第2回臨床研究セミナーに係る実施概要、収支状況並びに受講者アンケートの結果が報告された。

(6) 後援依頼への対応

議長より、本学会への後援依頼があった「第24回日本癌治療学会アップデート教育コース」、「第22回臨床腫瘍夏期セミナー」、「第31回オンコロジーセミナー」の後援申請を承諾したことが報告された。

(7) 委員会開催報告

池田理事より、がん専門薬剤師能力向上小委員会について開催報告があった。事務局より、製薬企業連携検討WGについて開催報告があった。

(8) その他

事務局より、各委員会委員長に対し2023年度事業計画（案）及び予算（案）作成に必要な「2023年度委員会活動計画書」および「2023年度活動費申請書」の提出について依頼があった。

以上をもって全ての議事の審議及び報告を終了したので、議長は 17 時に閉会を宣言し、解散した。